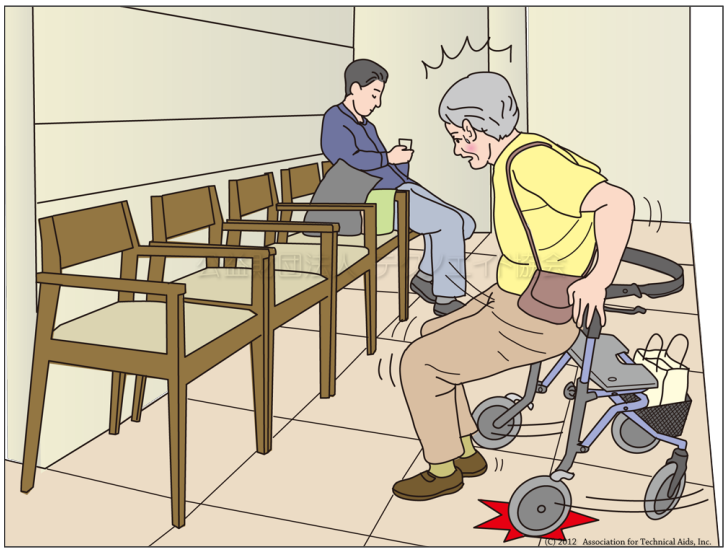
Case：67

歩行車に座ろうとした時、転倒しそうになる

場面の説明

ブレーキをかけずに座ろうとした際、歩行車が動きバランスを崩した



利用シーン	立ち座り 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行車のいす部分に腰掛けるときには、ブレーキを確実にかけることが重要です。ブレーキがかかっていても、歩行車自体は軽量であり、立ち座りの際には動きやすいため、過度にハンドルに頼ったり、勢いをつけて動作をする人には不向きな場合があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ブレーキをかけ忘れていた
人：安全にゆっくりと座ることができる脚力がなかった
モノ：座るときは必ずブレーキをかけるよう注意喚起をする表示が目立たなかった
環境：このような危険に対し、注意を喚起してくれる人が周囲にいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.